学校番号	402

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	高校社会と情報（実教出版）						
副教材等	基礎からはじめる情報リテラシー（実教出版）　社会と情報　学習ノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

将来を見据え、まずは必須の情報関連の基本事項の理解や徹底習得を目指します。
そして可能な限り応用的な実習も取り入れ、情報社会の一員としての責任を常に自覚しながら、様々な知識や技能を場面や状況に応じて適切に発揮、活用できるようになることも目指しています。

２　学習の到達目標

情報のディジタル化や情報通信ネットワークの特性を理解させ、コンピュータなどを効果的に活用する能力を養うとともに、情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解させ、情報社会に参加する上での望ましい態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする態度。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現する力。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 学習ノートの記述 実習作品 レポート 発表 相互評価　等	学習状況の観察 学習ノートの記述 実習作品 レポート 発表 相互評価　等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テスト　等	学習状況の観察 学習ノートの記述 定期考査　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ワープロ実習	○パソコンの基本操作 ○英文字入力練習 ○Word：いろいろな文書の作成	○	○ ○	○ ○	○	a: コンピュータの仕組みに興味を持ち、学習に取り組もうとしている。 b: ワープロソフトを使用して、文書作成に積極的に取り組もうとしている。 c: 正しい指使いで、早く正確にタイピングしたり、文章作成ができる。 d: ワープロを使用するメリット、デメリット、特徴　等をきちんと理解しながら活用できている。	授業観察 実技テスト レポート 課題制作
	情報社会	○情報と情報社会 ○社会の変化と個人の責任 ○情報社会の問題 ○個人情報とその保護 ○メディアとその特徴 ○メディアリテラシー ○コンピュータの発達 ○コンピュータの構成	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 情報社会の諸問題(特徴、責任、マナー、コミュニケーション、信憑性、個人情報保護　等)に関心を持とうとしている。 b: 情報社会の諸問題について考え、問題点を指摘、改善に努めようとしている。 c: 情報に適したメディアを選択でき、・電子メール，Web ページ作成，電子掲示板，チャットなどのインターネット上のコミュニケーションで適切な対応ができる。 d: 下記の①～⑦等についての知識や理解 ①データと情報，知識の違い ②インターネットの利点や問題点などの特質について ③情報メディアと表現メディア，伝達メディアの違い ④インターネット上でのマナーやモラル ⑤いろいろなメディアの発達による情報通信の進展 ⑥技術革新が社会や生活の変化に与えた影響 ⑦情報化の光と影の部分について	授業観察 学習ノート 定期考査 レポート

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	プレゼンテーション実習	○パソコンの応用的操作 ○テンキー・記号入力練習 ○Powerpoint ： プレゼンテーション用のスライドの作成と発表	○	○ ○	○ ○	○	a: コンピュータの仕組みに興味を持ち、学習に取り組もうとしている。 b: プレゼンテーションソフトを使用して、スライド作成に積極的に取り組もうとしている。 c: 正しい指使いで、早く正確にタイピングしたり、基本的な技術を習得し、それらをふまえ、早く的確にスライド作成ができる。 d: プレゼンテーションソフトを使用するメリット、デメリット、特徴等をきちんと理解しながら活用できている。	授業観察 実技テスト レポート 課題制作
	コミュニケーション	○コミュニケーション ○電子メールの利用 ○ネットワーク ○共通の取り決め ○インターネットの仕組み ○Webページの閲覧とメールの仕組み ○インターネットを利用したサービス ○社会の中の情報システム ○情報の共有化と合意形成 ○人に優しい情報技術	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: コミュニケーションの諸問題(メール、LAN、インターネットクラウド 等)に関心を持とうとしている。 b: コミュニケーションの諸問題について考え、注意点を指摘できる。 c: コミュニケーションの諸問題で、適切な対応や利用ができる。 d: 下記の①～⑤についての知識や理解 ① 検索エンジンの使用 ② ファイルの圧縮 ③ インターネットの技術 ④ Webを利用したコミュニケーション ⑤ 様々な情報システム	授業観察 学習ノート 定期考査 レポート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度　b: 思考・判断・表現
c: 技能　d: 知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。